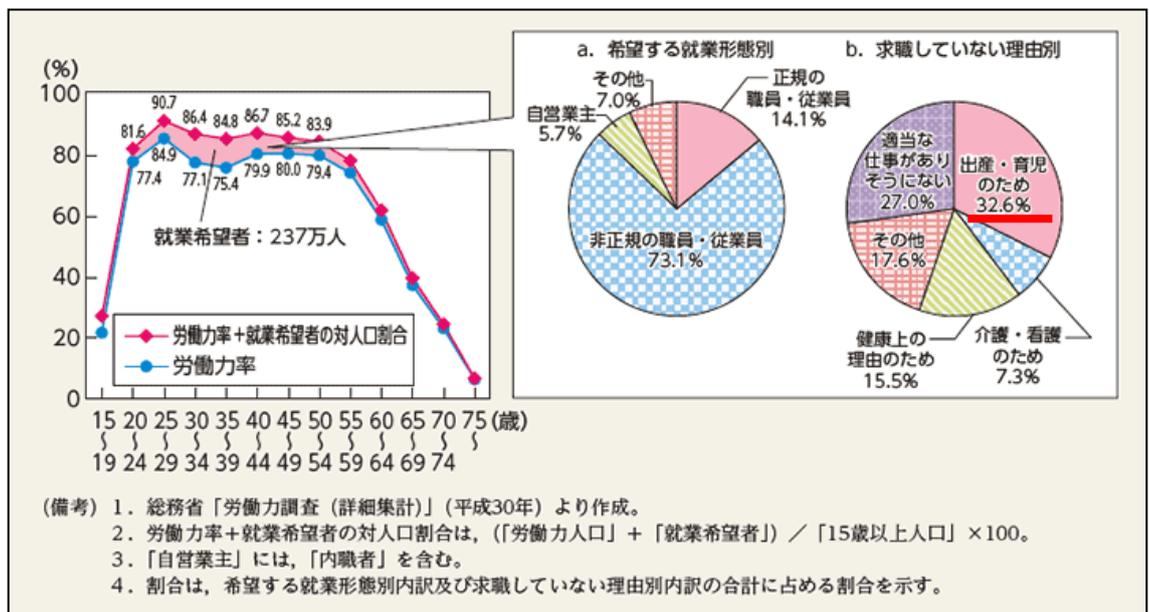


男女共同参画社会をつくる ～男女共同参画に関するQ&A～

Q 5 7 女性の就業希望者の状況と就業者及び管理的職業従事者に占める女性の割合(国際比較)について教えていただきたい。

A 5 7 (A) 女性の就業希望者の内訳(平成30(2018)年)

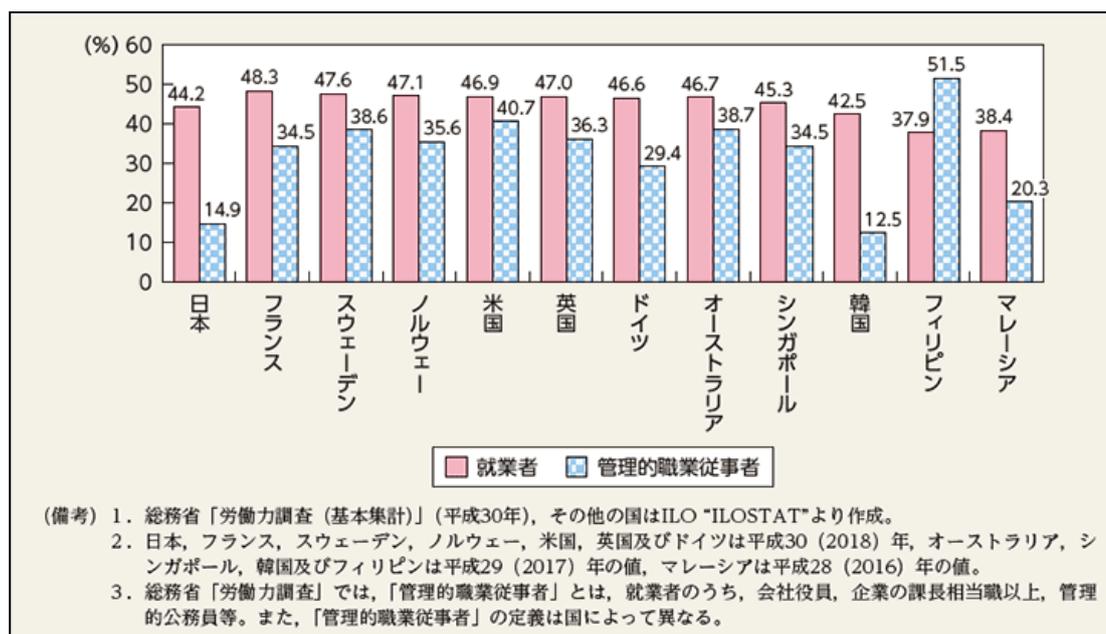


総務省「労働力調査(詳細集計)」によると、平成30(2018)年における女性の非労働力人口2,708万人のうち、237万人が就業を希望している。就業を希望しているにも関わらず、現在求職していない理由としては、「出産・育児のため」が最も多く、32.6%となっている。

総務省「就業構造基本調査」(平成29年)によると、就業を希望している者のうち、実際に求職活動を行っている者の割合は、女性全体に比べて育児をしている女性の方がいずれの年齢階級*においても低くなっている。

*15～24歳、25～29歳、30～34歳、35～39歳、40～44歳、45～49歳。

(B) 就業者及び管理的職業従事者に占める女性の割合（国際比較）



就業者に占める女性の割合は、平成30（2018）年は44.2%であり諸外国と比較して大きな差はなく、欧米諸国よりは数%ポイント低いが、アジア諸国の中では比較的高い。しかしながら、管理的職業従事者に占める女性の割合について見ると、平成30（2018）年は14.9%であり、前年の13.2%から1.7%ポイント上昇しており、5年前の平成25（2013）年の11.2%と比較して、近年着実に上昇しているものの、諸外国と比べると依然として際立って低い水準となっている。

出所 内閣府男女共同参画白書

令和元年版